



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 トヨクモ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4058 URL <https://toyokumo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 裕次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石井 和彦 TEL 050(3816)6668
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	555	26.5	270	29.4	270	29.4	187	31.3
2022年12月期第1四半期	439	—	208	43.3	208	43.3	142	41.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	18.67	17.25
2022年12月期第1四半期	14.03	12.97

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しております。そのため、2022年12月期第1四半期の売上高は対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,608	1,751	67.2
2022年12月期	2,610	1,634	62.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 1,751百万円 2022年12月期 1,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,330	20.3	720	12.6	720	12.7	490	14.7	48.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	10,162,000株	2022年12月期	10,162,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	137,110株	2022年12月期	137,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	10,024,890株	2022年12月期1Q	10,161,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間においては、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締めと金融機関をはじめとする企業の業績悪化への懸念など、依然として先行きの不透明な市場環境ではありますが、国内におけるマスク着用の考え方の見直し、行動制限や水際対策の緩和などを通じて、徐々に経済活動が再開することが期待されております。

当社が提供する「安否確認サービス2」は、災害時に従業員等の安否確認を自動で行うクラウドサービスであります。地震をはじめ、津波や特別警報などにも連動して自動で安否確認を送信します。利用者が回答した最新の情報を、管理者権限を持つユーザーが、いつでもリアルタイムで確認することができます。また、全社で利用できる掲示板だけでなく、限定されたメンバーのみが利用できる、グループメッセージ機能を備えています。これにより、災害対策本部をオンライン上に設置し、運営することが可能となっております。パンデミックをはじめとした非常時においては、従業員等に適切な予防方法を周知する、定期的に体温の報告をしてもらうなど従業員の健康管理として活用したり、サプライチェーン等に納期の懸念があるかを確認するといった、BCP（事業継続計画）対策としても活用したりすることが可能なため、今後もサービスを利用して頂ける機会は拡大していくものと認識しております。そのため、交通広告、インターネット広告、展示会への出展等を通じて、安否確認サービスの知名度向上に努めてまいりました。また、2023年2月にはサイボウズ株式会社が提供する「cybozu.com」とのシステム連携を開始し、従業員情報を簡単に同期できるようになりました。今回のシステム連携により、当社サービスと従業員情報を同期できる他社サービスは3サービスとなります。

当社が提供する「kintone連携サービス」は、サイボウズ株式会社の提供する「kintone」と連携することで、より便利に「kintone」を利用するためのクラウドサービスであります。「kintone」内にある情報を参照した帳票の作成やWebフォームの作成など、用途に応じた6つの製品を提供しております。「kintone連携サービス」は、1つの製品導入でも「kintone」を便利に利用することが可能になりますが、複数の製品を導入していただくことで、「kintone」をノーコード、ローコードでWebシステムのように活用できるようになります。2023年2月、次世代型ユーザー管理機能「Toyokumo kintoneApp認証」に新しく「ユーザーページ」という機能を追加しました。今まで利用者は、自分がアクセスできるフォームやビューのURLを1つ1つ管理する必要がありましたが、「ユーザーページ」を利用することでそれらを一元管理できるようになります。「kintone連携サービス」は機能追加、サービス間の連携を強化し、機能に関する動画コンテンツや活用事例の充実を通じて、拡販に努めてまいりました。

当社が提供する「トヨクモ スケジューラー」は、従来のグループスケジューラーがもつ社内の日程調整に加えて、社外の人との日程調整もできる新しいコンセプトのスケジューラーであります。予定を作成する際、サイボウズ株式会社の提供する「kintone」、「cybozu.com」と連携することで手入力の手間を省いたり、WebミーティングのURLをクリックで発行したりすることが可能であります。当サービスは日程調整を目的としたサービスのため、業種や規模を問わずご利用いただけるものであり、競合他社は多いものの市場規模は大きいと考えております。そのため、インターネット広告等を通じて知名度向上に努めてまいりました。

なお、各サービスにおいては、便利に使えるだけでなく、誰でも簡単に操作できることを第一に、機能追加及びメンテナンスを継続しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は555,494千円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益は270,003千円（同29.4%増）、経常利益は270,012千円（同29.4%増）、四半期純利益は187,127千円（同31.3%増）となりました。

また、当社は法人向けクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ1,948千円減少し、2,608,347千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加20,607千円、流動資産その他の減少19,991千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は前事業年度末に比べ118,902千円減少し、856,453千円となりました。これは主に、未払金及び未払費用の減少67,995千円、未払法人税等の減少63,117千円、未払消費税等の減少10,747千円、契約負債の増加20,006千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は前事業年度末に比べ116,953千円増加し、1,751,894千円となりました。これは、利益剰余金の増加116,953千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月13日に公表した内容から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,296,011	2,316,618
売掛金	44,675	49,021
その他	78,918	58,926
貸倒引当金	△1,889	△363
流動資産合計	2,417,715	2,424,202
固定資産		
有形固定資産	67,381	65,026
無形固定資産	162	156
投資その他の資産	125,036	118,961
固定資産合計	192,580	184,144
資産合計	2,610,296	2,608,347
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,762	24,159
未払金及び未払費用	164,452	96,457
未払法人税等	147,175	84,057
未払消費税等	52,927	42,180
契約負債	561,230	581,236
その他	25,807	28,361
流動負債合計	975,355	856,453
負債合計	975,355	856,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,025	380,025
資本剰余金	350,025	350,025
利益剰余金	1,104,561	1,221,515
自己株式	△199,670	△199,670
株主資本合計	1,634,940	1,751,894
純資産合計	1,634,940	1,751,894
負債純資産合計	2,610,296	2,608,347

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	439,086	555,494
売上原価	11,563	15,142
売上総利益	427,523	540,352
販売費及び一般管理費	218,786	270,348
営業利益	208,737	270,003
営業外収益		
受取利息	8	9
営業外収益合計	8	9
経常利益	208,745	270,012
税引前四半期純利益	208,745	270,012
法人税、住民税及び事業税	63,218	78,365
法人税等調整額	2,974	4,519
法人税等合計	66,193	82,884
四半期純利益	142,552	187,127

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。